

# 血管内治療科

## 1. 診療科としての特色

血管内治療科が対象とする疾患は、脳卒中の急性期治療を中心とした脳脊髄及び頭頸部の血管障害、血管奇形、腫瘍、機能異常などである。これらの疾患に対して高度な専門治療を行っている。血管内治療はデバイスの開発を含めてまさに日進月歩であり、近年目覚ましい発展を遂げている。当科はこれまでの治療実績が評価され日本脳神経血管内治療学会専門医訓練施設として認定されている。本領域の専門医を取得するためには、脳神経外科、内科、放射線科、救急科といった基本診療領域の専門医資格が必要である。すなわち血管内治療はそれぞれの基本診療領域の専門性に付加される高度な **subspeciality** といえる。従って初期研修では、これら基本診療領域の研修と血管内治療の基礎的な研修を同時に行う。

## 2. 研修目標

- 病棟診療や手術に参加し、血管内治療科的診療法、患者管理の基礎を習得する。
- 中枢神経系及び顔面、頭頸部の脈管発生及び微小血管解剖の基礎を習得する。
- 神経学的診断学の基礎を習得する。
- 脳脊髄、頭頸部疾患に関連するレントゲン・CT・MRI 診断法を習得する。
- 頸部動脈超音波診断法の基礎を習得する。
- 急性期脳卒中診断及び治療の基礎を習得する。
- 脳脊髄、頭頸部のカテーテル血管造影法を習得する。
- 病歴、所見のサマライズと症例呈示技法を習得する。
- 学術論文抄読、学会発表、論文作成方法を習得する。